

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年2月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470104625		
法人名	有限会社 百樹		
事業所名	高齢者総合福祉施設なだの郷 グループホーム		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目16-15 (電話) 082-285-2787		
自己評価作成日	平成28年1月8日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470104625-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年2月19日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>なだの郷ではターミナルケアを実践しております。ご家族様の希望があれば、グループホームで最後まで過ごして頂き、医療・ご家族様との連携を取りながら 温かい雰囲気・明るい、優しい職員が最後迄寄り添いながら、お手伝いをさせていただきます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>このホームを『自分の家』だと思っていただき、人生最後の時間を独りでなく、職員が見守って旅立って頂きたいと考えて職員は取り組んでいる。ターミナルケアに関しては、利用者に寄り添い、精神的・身体的な介護について、職員と話し合いながら行っている。ここでは、職員の都合を優先せず利用者を支援するように努めている。居室にポータブルトイレを置かず、トイレで排泄するように、利用者を誘導している。オムツをしない取り組みを行い、利用者の負担を少なくしている。室内では出来るだけ車いすを使用せず、職員が手引きして歩行を助けている。なお、天気の良い日には近隣を散歩し、近所の方と会話をする機会を設けるようにしている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	基本理念 「福祉は人 人は心」を運営の理念とし、朝夕の職員の引継ぎの場にも掲示し、全職員が共有し、日常の運営に際しても理念をもとに気を配り、常に心掛けた介護を行っています。施設内研修・新人研修の時にも取り上げ、指導、教育をしております。	法人理念「福祉は人、人は心」の下に、オアシス運動（おはようございます、ありがとうございます、失礼します、すいませんでしたの頭文字をとった挨拶運動）と「明るく挨拶、笑顔で会釈」の行動目標がある。管理者は職員会議で理念・行動目標を説明、指導している。また会議では、職員と一緒に実践されているかを評価している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の四季折々の行事等には、参加をさせて頂いております。又地域の保育園の園児さんや、小学校の児童さんの施設訪問が有り、楽しく交流をさせて頂いております。	町内会に加入し、清掃活動に職員が協力している。近所の公民館でのお茶会や予防体操などの地域行事に、利用者が招待され参加している。地域の保育園・小学校との交流として、園児や生徒がホームを訪問したり、また運動会を見学に行くなどを定期的に行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々の相談や疑問に答えたり、介護保険の仕組・認知症等について、関わり等のアドバイスをさせて頂いております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ご入居者様のご家族や町内役員の方、地域包括支援センターの方達等との意見交換や情報交換を行い、内外のご提案等をお伺いし、日々の運営に活かしています。	運営推進会議は、利用者とその家族が毎回1組程度参加し、地域住民が参加して、定期的開催されている。会議では、活発な意見交換が行われ、「利用者の表情が明るくなった」、「外出が多くなった」との意見が出ている。	運営推進会議には、1名程度の家族が参加している状況である。今後は、会に出席していない家族にも、議事録を開示することを検討して頂きたい。そして、運営推進会議の意義を理解して頂き、より多くの家族が参加し、活発な意見交換の場となることを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	隔月開催の運営推維会議には、地域包括支援センターの職員のほか、市担当者への出席の参加のお願い、及び会議記録を市担当者宛FAX送信しております。	区介護課に運営推進会議の案内を文書で通知し、議事録を報告しているが、区担当者の参加はない。地域包括支援センターは、毎回、運営推進会議に参加し、意見交換している。また、生活保護の関係で市生活課の職員とは、毎月、利用者の相談を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部研修やその場面々で説明したり、日々の引継ぎ時等具体例を挙げて、身体拘束と見られかねない行為等については、指摘・指導を行っています。主玄関は20時迄、施錠はせずに対応しています。</p>	<p>「身体拘束について」は「虐待」と共に、年に2回、内部研修を行っている。研修では、職員が実際に身体拘束を受けたら、どのように感じるかを職員に問い、その対応について話し合い、重要性を認識するように努めている。また、言葉による強制を行わないよう指導している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修に積極的に参加し、その場で学んだ事は、全体会議を開き、その場で報告をし、職員が共有できる体制をとっています。また、入浴介助の際にはご入居者の身体に、不審な傷・痣等が来ていないか、必ず確認、報告しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設内研修を行い、家族様からの相談時には、このような制度が利用可能なことなど説明しています。又、職員も制度や仕組みについて勉強し、知識の向上・支援につなげています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、細かい仕組み、体制、費用等について、書類を読み上げて説明しています、特に健康管理や重篤時の対応等は、丁寧に解り易く説明し、ご理解ご納得を頂けるよう心掛けております。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的に、ご入居様と接する中で、細かい要望なども積極的に聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。又ご家族様の来所時には、我々への要望、思いや苦情等は、積極的に聞き取りしております、苦情処理機関の存在などもお伝えしております。</p>	<p>家族の来訪時に、家族の意見を聞いている。家族の要望により、訪問歯科診療を導入するようになった。今後は、外出の機会を増やし、観劇にも行くことを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	常日頃から、職員の提案・意見には耳を傾け、毎月の職員会議、毎週の管理者会議、さらに必要時には個別での意見聴取の機会を作っています。	毎月の職員会議で職員の意見を聞き、職員の相談には、いつでも応じている。利用者の立位保持や移乗について、利用者に応じた方法を職員が検討し、実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は不在時を除き、毎朝の全体引継ぎには出席し、就業環境の確認などを行っています。又自己評価を定期的に行い、各自目標を立てて勤務に当たっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修は毎月開催し、次回のテーマを決めて、研修の機会を設けています。又、積極的に職員へ外部研修を案内し、参加を促しています。資格研修の費用等も職員に負担がかからない様に、施設が負担しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所間との交流も定期的を持ち、意見交換等を行い、勉強しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入所前の事前面接ではご本人の生活の様子、日常生活動作の確認、困りごとや要望などの聞き出しに時間をかけています。入所後の数日は、帰宅願望などで不穏状態が見られる事から、職員の重点的な見守りを行い、ご本人や家族の要望や相談事を聴く機会を積極的にとり、安心感を醸成しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前の事前面接では、ご家族やケアマネを含めて、これまでの生活の様子、ご家族の困りごとや要望などの聞き出しに時間をかけています。入所後の数日は、帰宅願望などで不穏状態が見られる事から、ご家族との連絡を密にして、ご要望などを聴く機会を積極的にとり、安心感を醸成しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前面接時に得た情報に加え、本人様を観察しながら、職員相互の協議で、今後の介護などの在り方について微調整を行っています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員はご入居者様は「新しい家族」と言う立場として認識し、新しい家、新しい家族としての信頼関係を築き、何事も共に寄り添いながら行い、日々過ごすように心がけています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様の想いをしっかりと受け止めて、入所後も負担を少しでも軽減出来るよう心掛けるとともに、ご入居者に寄り添い、そして、こまめに連絡を取り、意向を聴くなどの関係に努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人からのご要望や相談があれば、職員がまず対応し、外部との手紙のやり取りや電話等も、必要に応じて取り次いでいます。特に不穏時やご家族の訪問が必要時には、施設に来て頂けるよう連絡を取り、調整しています。</p>	<p>「今まで行っていた喫茶店に行きたい」「墓参りに行きたい」などの利用者の要望は、家族に伝え対応して頂き、なじみの関係が継続するように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入所時から、性別、同じレベルの方、趣味や生活スタイルなど、お話が合う方は席を近くにしたり、時には入れ替えるなど、お互いに刺激与えるような工夫を行っています。又両ユニットでレクを行い、合同での相互交流を行ったり、レベルに合わせて、グループでのレクもしております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も、家族様の不安を取り除く為居宅介護支援事業所との関わりは継続しています。ご縁を大切にしています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様ご本人の現在・過去の思いや暮らし方等をお聴きし、職員で対応できる事は積極的に取り組んでいます。又ご家族のご了解が必要な事項は連絡を取り、個別に対応しています。ご利用者様には各担当職員を決めて対応しています。	日常の会話から得られた利用者の思いや趣味に関しては、「送りノート」に書いたり、職員間で話をして情報を共有している。ここでは、週1回、「カラオケ」や「書道」の会を設け、楽しんでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接ではこれまでの住まいをお訪ねし、日常生活動作などを確認するとともに、ご利用されているサービスでの状況も観察させて頂き、入所後は見守り、声掛け等を通じて、細やかにご本人の要望等をお聴きするとともに、ご家族様にも訪問をお願いし、馴染の暮らし方と変化が無いよう心掛けしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々変化していく為、目配り・気配りを心がけ、変化に気付ける様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプランの作成に当たっては、ご家族やご本人の希望を聴き、作成しております。又変化時や介護度の変更時など、アセスメント・カンファレンス・新ケアプランに沿って行い、プランが適しているかを、常時モニタリングしています。</p>	<p>利用者毎に担当者を決めている。約半年に1回、担当者とケアプラン作成者がケアプランの実施状況をチェックしモニタリングを行っている。その後、ケアカンファレンスで、家族の意見を聞き、ケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録・個人記録等は、日勤・夜勤者が記入し、その後の職員は出勤時に記録確認をしてから業務に入ります。変化や見直しが必要時には、計画を立て直し、支援を実践し、モニタリングをしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>柔軟な支援が出来るよう、多機能化に取り組んでいます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>天気が良い時は、毎日の散歩などで地域の方と、顔見知りになりました。最近はお声をかけて頂く事が増えて来ました。又地域の行事にも参加する機会が増えて来ました。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>家族様とも入所時に充分話し合い、適切な医療を受けられるよう支援しています。家族様と情報の交換が多く出来るよう、常に心がけています。</p>	<p>本人・家族の要望で、主治医を決めている。ほとんどの利用者がホームの協力医を主治医としている。協力医は月に2回往診し、利用者の健康状況を把握している。利用者が体調不良時には、医師と連絡を取り、対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>情報はまとめて伝え、看護師からのアドバイスや注意点などもしっかりと聞き、支援に活かしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>信頼関係作りに努めています。持っている情報を適切に伝え、情報交換時にはお互いに確認し合い、疑問点や注意点の確認を随時しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所する時点で、重度化への指針や緊急時の体制等について、入念にお話させて頂いております。医療に加え、家族様とも連携して共通した目標を基に、全職員がケア、支援に取り組んでいます。本人・家族様の意向を大切に考えています。</p>	<p>ホームとしては、家族の要望があれば看取りを行う方針である。利用時に、重度化した際の指針を説明している。また、重度化した際には、家族・医師・看護師・ホーム管理者が話し合いをし、家族の意向を確認している。家族の要望があれば、医師と相談し協力して看取りを行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>マニュアルに沿い、事故防止委員会を開催し、これまでに発生した事例を基に、再度当日の行動などを関係者で振り返り、意見交換と研修を行っています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練や研修を行っています。消防署にも訓練、指導を行ってもらっています。</p>	<p>年に2回、隣接する同一法人施設と合同で避難訓練を行い、利用者も参加している。災害時には隣接する施設職員と連絡が取れる体制が整っている。また、地域の防災訓練には、歩行可能な利用者と一緒に、職員が参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	ご入居者様への言葉遣い等には特に注意しています、必ずしも敬語での対応が必要とは限りませんが、その時々で職員間で注意しあうようにしています。また、対応についての研修も行っています。	「人生の先輩として尊重し、利用者に対する言葉使いは丁寧に」「利用者の個人情報、外部に漏らさない」について、管理者は折に触れ、職員に指導している。また、思いを伝えられない利用者については、家族と話をし、利用者の思いを把握するように指導している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の要望や思いなどに耳を傾け、その中に出来る事、出来ない事など丁寧に説明しています、ご本人の言葉に出さない内面に気づき、表現出来る様に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	まずは、ご入所者の方の思いや要望をお聞きし、その日その時の体調なども考慮して、職員のペースにならない様に、無理のない支援を心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で決める事が出来る方は、見守りの中で対応し、介助が必要な方は、衣類を見て頂きながら、職員が対応しています。月一回の理美容が入り、一人ひとりの希望を聞いて、好みのカットをしたり、必要時は馴染みの美容院へ出かけています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご自分が出来る処はご本人様にして頂き、楽しくお食事が出来る様に席の配置などにも、配慮しています、後片付け等も、職員と共に無理のない範囲でしています。	通常は、管理栄養士が作成した献立により食事を提供している。月1回の誕生日会では、利用者の好きな食事を提供している。また、クリスマス会では、利用者と一緒にケーキを作ったり、おやつにぜんざいを楽しむこともある。元旦には、職員手作りのおせち料理を用意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>摂取量・水分量は、必ず食事毎に表に記入し、特に水分は一日でのトータルを把握して、少ない方には、飲み物を変えて飲んで頂き、十分な摂取量が出不来ない場合は、食事の形態を変えたり、状態に合わせて対応しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを全員行っています。又その確認を職員全員で行い、介助が必要な方は職員が介助しています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄介助が必要な方は、排泄パターン・表情を見ながら、声かけ、トイレ誘導しています。原則的にはパット内に排泄されるのではなく、自立での排泄が行えるように支援し、気持ちの良い排泄をして頂けるよう取り組んでいます。</p>	<p>各居室にはポータブルトイレを置かず、トイレで排泄するように利用者を誘導している。ここでは、日中は布パンツとパットを使用し、夜間は睡眠が取れるように、リハビリパンツとパットを併用し、オムツを使用しない取り組みを行っている。それにより、利用者の金銭的な負担軽減が行われている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>処方のお薬に頼るのではなく、極力、自立排泄がすすむように、朝のお茶等にオリゴ糖を入れて飲んで頂いたり、適度な運動や、必要時には腹部マッサージで予防に取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本の入浴日は設定していますが、ご利用者様に合わせて対応しています、その時に合わせて、入浴支援を行っています。</p>	<p>ここでは、入浴の際に、下半身の清潔保持を重視し、また、水虫防止の為に、足指の間・爪周りを丁寧に洗っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>日中のお天気の良い日は、散 歩に出かけたりして精神の安定 をはかり、寝具の清潔などに気 を配り、眠れない時には足浴 なども対応しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>医療と連携を取り、疑問点は直 ぐに問い合わせ、アドバイスを 頂きながら、変化の観察等に気 配りをしながら、支援してい ます。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>ご利用者、それぞれがご自身 の役割を見い出せる様に支援 しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>天気が良い日は、体調状態を見 ながら近隣への散歩をし、気 分転換や外部の方との触れ合 いを大切にしています。家族 様と連携して外出の支援をし ています。</p>	<p>天気が良い日には近隣へ散歩 に出かけ、近所の方と話をす る機会を設けている。正月に は初詣に出かけ、花見にも出 かけている。今後は、外食や 観劇の機会を設けたいと検討 している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>入所時に、金銭管理についての 説明をご家族様を交えて行っ ています。それぞれのご利用者 様に適した方法を見極めて支 援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>入所時に、電話等に関してはご家族様と話し合いを持ち、家族様の了解のもとで取次などしています。お手紙などは、レターセット・葉書を準備して対応しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内や、共用施設は掃除の仕方をマニュアルで定め、清潔で明るい空間となる様努めています。リビングでは音楽を流して、心休める事が出来る様に工夫をしています。</p>	<p>トイレ・居室など清掃担当者を決めて掃除し、清潔に保つように努めている。冬季には、湿度を保つように工夫し、リビングでは、テレビをつけずラジオや音楽を楽しむようにしている。書道などの、利用者の作品を掲示することもある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>座席の配置を考慮しながら、その時々に合わせてレイアウトを行い、空間づくりに配慮しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご利用者の思いのある物は持って来て頂き、自室に置き、それについてのお話をしたりして、会話を増やし、ご本人の好みを尊重するよう心掛けています。</p>	<p>利用者の思い入れのある物、例えば仏壇や趣味の書道の道具を居室に持って来られて、利用者が快適に過ごせるように配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご利用者の出来る処、出来ない処を、職員は把握して対応していますし、職員によって、ケアにムラが出ない様心がけています。</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 高齢者総合福祉施設なだの郷
グループホーム

作成日 平成28年3月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者様思いをくみ取り出来るだけ外気に触れ季節感を感じて頂く様にしておりますが、まだまだ希望に沿っていない	冬場の外出が減ってきている、近隣に散歩に出かけて気分のリフレッシュが出来る様になりたい	季節に合わせての、外出支援の計画を作り、ご利用者様に外部に触れ合う事を増やして行きます。	6カ月
2	41	食事の摂取量・必要な水分量等が、時には職員のペースになる時がある。	今から夏場に向けての必要水分が取れているようにする。	食事量・水分量などの必要性を定期的に研修を行い、全体の介護の質を上げる	3カ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。